



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月8日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4960 URL <http://www.chemipro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼俊 寿志
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 徳地 昭博 TEL 078 (393) 2524
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,910	△9.3	314	6.3	141	0.7	136	97.4
2020年3月期第3四半期	7,616	11.0	295	47.9	140	611.4	69	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	8.35	—
2020年3月期第3四半期	4.23	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	14,064	4,469	31.8	271.96
2020年3月期	13,776	4,360	31.6	266.15

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,469百万円 2020年3月期 4,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△5.6	300	△22.5	100	△38.3	50	△44.9	3.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	16,623,613株	2020年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	188,032株	2020年3月期	240,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	16,407,551株	2020年3月期3Q	16,382,783株

- (注) 1. 期末自己株式数には、信託が保有する当社株式（当第3四半期累計期間125,400株）を加算しております。
2. 期中平均株式数（四半期累計）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（当第3四半期累計期間153,432株）を控除して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減速した後、緩やかな回復の兆しも見えておりましたが、年末にかけての感染再拡大にともない、警戒感が強まってまいりました。

米国経済は、企業業績の改善が鈍化し欧州経済も減速傾向が強まっております。一方、中国経済は回復傾向を維持したものの力強さはなく、新興国経済も一進一退で推移しました。日本経済についても、海外経済の影響から輸出の減少等が依然として継続しており、厳しい環境となっております。

今後も新型コロナウイルス感染症の更なる拡大への強い懸念等から、世界経済の不安定な状況は当面継続するものと思われまます。

このような経済環境の中で、当社の属するファインケミカル業界につきましても不透明感は強く、加えて、従来からの原材料の価格変動、販売価格競争の継続もあり売上・収益環境の厳しさに変化はありません。

具体的な当社の当第3四半期累計期間における業績は、主力製品である紫外線吸収剤の売上高が大きく減収となり、電子材料や写真薬中間体、酸化防止剤等も減収となる一方で受託製造製品は、相応に増収を確保したものの化学品事業全体では減収となりました。ホーム産業事業も、木材保存薬剤の販売は堅調であったものの、シロアリ駆除工事等が抑制されたことから減収となりました。売上高全体では、前年同四半期比705百万円減収の6,910百万円(前年同四半期比9.3%減)となりました。利益面については、受託製造製品等の積極的取り組みや経費圧縮等で減収の影響をおぎない営業利益は314百万円(同6.3%増)、経常利益は営業外費用として生産休止費用を133百万円計上したものの141百万円(同0.7%増)となりました。税引前四半期純利益につきましては、特別利益として土地売却益6百万円、保険解約返戻金43百万円を計上したことから187百万円となりました。四半期純利益につきましては、法人税、住民税及び事業税が6百万円、法人税等調整額が44百万円となり136百万円(同97.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同四半期比690百万円減の3,818百万円(前年同四半期比15.3%減)となったことに加えて、電子材料が同151百万円減の113百万円(同57.0%減)、写真薬中間体が同82百万円減の105百万円(同43.8%減)、酸化防止剤が同76百万円減の230百万円(同24.9%減)、製紙用薬剤が同35百万円減の195百万円(同15.6%減)となり、受託製造製品が同348百万円増の1,573百万円(同28.5%増)であったものの、全体では同682百万円減の6,087百万円(同10.1%減)で着地いたしました。

(ホーム産業事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同四半期比30百万円増の699百万円(前年同四半期比4.5%増)となる一方で、その他が同53百万円減の123百万円(同30.2%減)となったことから、全体では同23百万円減の823百万円(同2.7%減)となりました。

(品目別販売実績)

(単位:千円,%)

セグメント別	期別 区分	前第3四半期累計期間 2020年3月期		当第3四半期累計期間 2021年3月期		増減 金額
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	4,508,668	59.2	3,818,483	55.3	△ 690,184
	写真薬中間体	187,260	2.5	105,190	1.5	△ 82,070
	製紙用薬剤	231,199	3.0	195,219	2.8	△ 35,979
	酸化防止剤	306,524	4.0	230,164	3.3	△ 76,360
	電子材料	265,246	3.5	113,971	1.6	△ 151,274
	受託製造製品	1,224,314	16.1	1,573,078	22.8	348,763
	その他	47,464	0.6	51,780	0.7	4,316
(小計)	6,770,677	88.9	6,087,888	88.1	△ 682,789	
ホーム産業事業	木材保存薬剤	669,566	8.8	699,741	10.1	30,175
	その他	176,544	2.3	123,294	1.8	△ 53,249
	(小計)	846,110	11.1	823,036	11.9	△ 23,074
合計	7,616,788	100.0	6,910,924	100.0	△ 705,863	

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期末（以下「当四半期末」という）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という）比287百万円増加し、14,064百万円となりました。流動資産は同92百万円増の8,298百万円、固定資産は同195百万円増の5,766百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、商品及び製品が439百万円、原材料及び貯蔵品が107百万円、その他の流動資産が95百万円増加した一方で、現金及び預金が314百万円、受取手形及び売掛金が162百万円、仕掛品が74百万円減少したことなどによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産のその他（純額）が288百万円増加した一方で、投資その他の資産のその他が106百万円減少したことなどによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比177百万円増加し、9,594百万円となりました。流動負債は同124百万円増の6,402百万円、固定負債は同53百万円増の3,191百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が206百万円、電子記録債務が87百万円、1年内返済予定の長期借入金が96百万円増加した一方で、未払法人税等が77百万円、賞与引当金が52百万円、その他の流動負債が136百万円減少したことなどによるものであり、固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が37百万円増加したことなどによるものであります。

当四半期末の純資産は、前期末比109百万円増加し4,469百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、四半期純利益を136百万円計上した一方で、配当金の支払57百万円があったことによるものであります。この結果、自己資本比率は31.8%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

緩やかな回復の兆しが見えておりました世界経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大にともない、極めて不安定な状況となっております。従いまして、引き続きグローバルな状況も含めて今後の経済情勢については、慎重に注視してまいらなければならないと見られます。

このような中、当第3四半期累計期間の業績は2020年8月7日発表の通期業績予想に対する進捗では、売上面で主力製品である紫外線吸収剤などの添加剤での減収が影響し厳しい状況となっておりますが、利益面では受託製造製品等で品目拡充等の成果が現れ、一定の水準を確保しております。

しかしながら、現下の環境を考えれば、今後も国内外の経済状況は極めて流動的と考えられ、現段階では2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期の業績予想数値は変更しておりません。今後も、2021年3月期の業績予想につきましては適時に見直し、業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,890,032	1,575,817
受取手形及び売掛金	2,607,663	2,445,499
商品及び製品	2,835,404	3,274,552
仕掛品	142,054	67,860
原材料及び貯蔵品	500,900	608,650
その他	236,523	332,380
貸倒引当金	△6,453	△6,492
流動資産合計	8,206,125	8,298,269
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,007,580	994,080
土地	2,870,604	2,870,396
その他(純額)	1,349,140	1,637,551
有形固定資産合計	5,227,324	5,502,028
無形固定資産	11,235	9,589
投資その他の資産		
投資有価証券	86,016	114,431
その他	262,471	155,754
貸倒引当金	△16,230	△15,714
投資その他の資産合計	332,257	254,471
固定資産合計	5,570,816	5,766,089
資産合計	13,776,942	14,064,358

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	793,110	999,437
電子記録債務	442,387	530,139
短期借入金	2,850,000	2,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,191,350	1,287,825
未払法人税等	77,130	—
賞与引当金	101,016	48,107
その他	823,616	687,179
流動負債合計	6,278,612	6,402,688
固定負債		
長期借入金	2,004,100	2,041,925
退職給付引当金	470,943	496,950
株式給付引当金	21,962	11,313
その他	641,076	641,652
固定負債合計	3,138,081	3,191,841
負債合計	9,416,693	9,594,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,052,567	1,052,567
利益剰余金	1,176,445	1,255,431
自己株式	△51,399	△40,751
株主資本合計	4,332,966	4,422,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,282	47,228
評価・換算差額等合計	27,282	47,228
純資産合計	4,360,249	4,469,828
負債純資産合計	13,776,942	14,064,358

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,616,788	6,910,924
売上原価	6,509,027	5,812,306
売上総利益	1,107,760	1,098,618
販売費及び一般管理費	811,890	784,203
営業利益	295,870	314,415
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	4,207	4,391
受取賃貸料	15,170	8,400
その他	9,842	13,502
営業外収益合計	29,222	26,297
営業外費用		
支払利息	52,430	54,111
生産休止費用	120,741	133,911
賃貸収入原価	3,891	4,613
その他	7,078	6,184
営業外費用合計	184,142	198,821
経常利益	140,950	141,891
特別利益		
土地売却益	—	6,251
保険解約返戻金	—	43,004
特別利益合計	—	49,255
特別損失		
訴訟関連損失	—	4,000
特別損失合計	—	4,000
税引前四半期純利益	140,950	187,146
法人税、住民税及び事業税	36,702	6,181
法人税等調整額	34,888	44,016
法人税等合計	71,590	50,197
四半期純利益	69,359	136,948

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。